

5月25日 毎日夕刊 ①

赤松農相が

初めて陳謝

口蹄疫

赤松広隆農相は25日午前の衆院農林水産委員会で、宮崎県で感染が広がっている家畜伝染病の口蹄疫（ちていぎ）に関し「反省していないとは言っていない。結果としてこれだけ広がったことは申し訳ない気持ちでいっばいだ」と述べ、初めて自らの結果責任を認め陳謝した。

自民党の谷公一議員の質問に答えた。

(社会面に関連記事)

半面、感染の拡大を防げなかったことについては「殺処分した牛や豚の）埋却地についても、こちらは『早く埋めさせて』と求めたが(県などは)『土地使用の対価となる)金の問題が片づくまで』と、少し認識が違っていた」と指摘。地方にも原因があるとの見方を示した。【行友弥】